



めざせ!!

地域のヒーロー 消防団

問合せ
防災課地域防災係
☎(95)9875

消防団長 石川鋼逸さん



進化と継承

本年4月1日より市消防団長に就任しました石川鋼逸です。

我々消防団は地域防災の要として、自らの地域は自らで守るといふ郷土愛の精神で市民の皆さんの安心で安全な暮らしを築くために日々活動をしています。

火災出動のみならず、地震、津波、風水害といった大規模災害発生時における救助活動、避難誘導などに従事し、平常時には火災予防の啓もう活動、応急手当の普及指導など多岐にわたり重要な役割を果たしています。

しかし、近年の社会情勢の変化によって、団員数の減少やサラリーマン化などにより消防団も様々な課題に直面しています。時代と共に社会環境が刻々と変化している今、消防団も時代と共に大きな変革の時期を迎えています。今後起こりうる南海トラフ・東南海地震などの大規模災害に備え、自らの地域は自らで守るといふ強い精神力のある団員の育成と共に団員の確保がやがて地域の力となり、そして碧南市の安心、安全を守るといふ事につながります。

これからも市民の安心、安全のために組織の充実、強化をより一層図り、自らの地域は自らで守るといふ郷土愛の精神で行政、地域の皆さんと共に進化と継承のバランス感覚を保ちながら市消防団としての自覚と誇りを持ちまい進んでいきたいと考えております。

皆様のご支援・ご協力そしてご理解を衷心よりお願いいたします。



町をきれいに クリーンピー情報局

問合せ 環境課ごみ減量係 ☎(95)9899

ごみの減量化へのご協力をお願いします

夏場は、水分の多い生ごみや草木ごみなどの量が増える季節です。皆さんがごみの減量化をしていただくことで、ごみ収集業務の効率も良くなり、また焼却コストも削減できます。ご協力をお願いします。

①生ごみは水をきり、草木は乾かして出しましょう

夏は、果物や野菜など水分の多い生ごみや、草木のごみが多くなります。市では、毎年約12,000トンの燃やすことのできるごみが各家庭から出されています。

一般的に、家庭ごみの約40%が生ごみと言われ、そのうち約80%は水分といわれています。市の場合、年間約4,000トンもの水分をクリーンセンター衣浦で燃やしていることとなります。

各世帯が1日に10ccでも生ごみの水切りをすることで、市全体で年間約100トンのごみの減量につながり、焼却処理費用も削減できます。

生ごみは水をきり、草木は乾かしてから出しましょう。

②多量のごみは、クリーンセンター衣浦への搬入をお願いします

草刈り、庭木せん定、引っ越しなど、一時的にごみが多量（市指定ごみ袋で10袋以上など）に出る場合は、クリーンセンター衣浦への持ち込みをお願いします。その場合は、市の指定ごみ袋でなくても搬入できます。

③草木ごみは、木曜日または金曜日に分散して出しましょう

燃やすことのできるごみは、とりわけ週末明けの月曜日や火曜日での排出が多くなり、ごみ収集作業に支障をきたすことがあります。

草木などの腐敗しにくいごみの排出は、月曜・木曜に排出の地域（市北部）は、なるべく木曜日に、火曜・金曜に排出の地域（市南部）は、なるべく金曜日に排出していただくと、ごみの排出量の分散化ができ、効率の良い収集が行えます。ご協力をお願いします。